

## 家庭菜園の害虫とスズメバチのお話（令和元年8月11日開催）

講師：池田二三高さん（野路会）

参加者：9人

### 1 ハチの仲間

ほとんどのハチは集団で巣を作りますが、ハチの仲間には巣を作らないハバチや巣は作りますが母バチ1匹だけで子育てをするハナバチなどの種もいます。

### 2 スズメバチの巣

スズメバチの巣はカプセル状で中は何層にも分かれていて、材料は木の皮や木くずであり、唾液（だえき）で固めて作ります。材料の中にはティッシュペーパーや新聞紙も紛（まぎ）れ込んでいることがあり、これらを実際に顕微鏡で見ました。ハチの巣は5月から6月の初期には女王バチが1匹で作りはじめ、その後メスの働きバチが共同で巣作りを行い大きな巣になっていきます。

### 3 オオスズメバチの家族と役割

1月にオオスズメバチの巣の中を調べてみると、約1割が翌年女王バチとなるメスバチ、約2割がメスの働きバチで、残りの約7割がオスのハチでした。女王バチの役割は初期の巣作りや産卵ですが、メスの働きバチは巣作り、巣の掃除、子どもにエサを与え、巣を守るために外敵を追い払い、戦うなど翅（はね）がぼろぼろになるまで働き続け4週間位で死んでしまいます。オスバチは特にすることもなく巣の中において、繁殖期になると女王バチと交尾し、死んでしまいます。

### 4 ハチはどんな時に刺すか

スズメバチは巣をつついたり、ゆすったりした時、煙や排気ガスがかかった時に攻撃し、刺します。また、黒くて動くもの（ハチの巣の天敵であるクマなど）、化粧品をついたものを刺すので、刺されないためには帽子や服装は白いものを身に着けます。

ハチの種により刺しやすい時期が異なり、アシナガバチでは7月から9月まで、スズメバチでは9月中旬から11月中旬までが危険な時期となります。

### 5 家庭菜園の害虫

家庭菜園の害虫で現在問題となっているのは外来種の害虫であり、また、外来種の害虫に付いて運ばれたウイルスなどによる病気も大きな問題となっています。近年は、花き類の輸入が増加し、カーネーションは99%が輸入されています。

講師の説明



顕微鏡で観察



メスバチとオスバチ



メスバチの針

